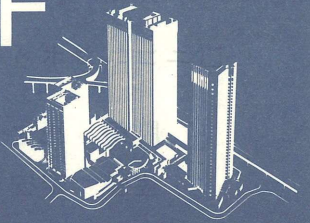


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH WEEKLY REPORT



東京新南ロータリークラブ週報

January 29, 1988 No.64

今年度のターゲット (チャールズ C. ケラー)

ロータリアン--奉仕に結束--平和に献身

ROTARIANS--UNITED IN SERVICE--DEDICATED TO PEACE

○ 本日の予定

昭和63年 1月29日 (第66回)

「外から見た日本」/評論家 犬養 道子氏



<犬養道子氏 Profile>

1948年 渡 米

1954年 パリ・バトリック大学で聖書学を専攻

1965年 ハーヴァード大学研究室員 現 在 ヨーロッパ 在 住

主 な 著 書

お嬢さん放浪記

私のヨーロッパ

私のアメリカ

女が外に出るとき

旧約聖書物語

新約聖書物語

ラインの河辺

花々と星々と

西欧の顔を求めて

幸福のリアリズム

フリブール日記

私のスイス

アウトサイダーからの手紙

日本人が外に出るとき 他

◎先週報告 昭和63年 1月22日 (第65回)

第4回クラブ協議会 テーマ『各委員会の上半期報告並びに下半期計画』

司 会： 田島 一郎 会 長

♪ ローターソング：それでこそロータリー

ソングリーダー：福田 恭三君

ニコニコBOX 紹介：渡邊 治君

来客紹介：小西 卓也君

出席状況 会 員 42 名中 出席 35名 欠席 7名
来 客 2名 (都内 2名)

□東京築地RCより、勝田正之・河村直亮氏が 3月25日 (金)～26日 (土)
東京プリンスホテルにて開催される第 275地区大会のご案内にお見えに
なりました

□幹事報告

- ①上記、275 地区大会は原則として会員全員のご参加をお願い申し上げます
- ②第 275地区 86-87年度「年次報告書」P35 の「クラブ創立順位表」の一部
に誤りがあり、会員分の訂正刷りが届いています P35 に貼付下さい

□ニコニコボックス (1/22 順不同・敬称略)

- 勝田 正之・河村 直亮 (東京築地RC) 地区大会のご案内に上がりました
佐藤 定宏 某県の公害センターの設備計画のコンペに入選となるというお年玉を
頂戴しました
小西 卓也 1月10日 (日) 府中C.C. Aクラス 月例で19年振りに優勝、銀のカップを
頂きました 「今年は春から縁起がいいや～」
四分一 勝 斉藤さん、昨日は小金井でC.C.で楽しく過ごさせて頂きありがとう
ございました
渡邊 治 佐藤定宏さん、立派な湯飲み茶碗を頂きありがとうございました
毎日楽しく眺めさせて頂いております



本日の合計 5件 14,000 円

それぞれ、多額のご寄附を頂きました 有り難うございます。

○Visitors 東京-築地RC 勝田 正之 河村 直亮

東京新南ロータリークラブ

2 月 行 事 予 定

2月 1日 (月) 第 2 回 食 べ 歩 き 会 『魚 新』第 1 部 18:30 ~ 20:00
第 2 部 20:00 ~

2日 (火) 地区雑誌委員長会議 会 議 15:00 ~ 17:00
於/日本工業倶楽部 懇親会 17:00 ~ 18:00



2日 (火) 火 曜 会 17:00 ~ 19:00
於/アーク森ビル2F マエストロ

5日 (金) 定 例 理 事 会 例会後 13:40 ~ 15:00

16日 (火) 地区社会奉仕委員長会議 15:00 ~
於/ホテルニュー大塚 芙蓉の間 15:00 ~

23日 (火) ロータリー創立記念日

□第 275 地区大会開催のご案内

日 時 昭和63年 3月25日 (金) ~ 26日 (土)

場 所 東京プリンスホテル

登 録 料 第 1 日 (3/25) 会 員 5,000円 ご同伴者 5,000 円
第 2 日 (3/26) 会 員 9,000円 ご同伴者 5,000 円

26日の記念講演のゲストは磯村尚徳氏、レディースミーティングの
講師は黒川玲氏です

※ ご出欠を 2月 5日 (金) までに事務局へお知らせ願います

一般に漆の歴史は古いと考えられているが、この15,6年の間にそれまでの長い歴史が塗り替えられる様なことが次々に起こったのである。日本の場合、最も古いもので縄文後期の終わりか晩期(紀元前 3~ 4世紀)、シナ大陸で、戦国晩期が秦の始皇帝(紀元前 3~ 4世紀)あたりが最古の漆器発生期だと長い間云われてきた。ところが日本で福井県の鳥浜貝塚から縄文前期(5,500年前)の漆器類が出土して我々関係者を驚かせたかと思うと、彼の地シナ大陸では河姆渡遺跡から新石器時代に当たる今から6,900 年前の漆器が出土した。このような長い歴史をもつ漆の話を30分でお話することは難しいことなので、自己紹介を兼ねて自分と漆のかゝわり合いや今までしてきた仕事の中から面白い話など二~三、時間の許す限りお話したい。

私の生家は代々日光東照宮の塗師絵師であったので、物ごごろがついた頃から父の弟子達が漆を塗ったり蒔絵や極彩色絵画などを描くのを見ながら育った。高校 2年の時に「芸大に入りたい」と父に告げると、「あそこは難しいゾ」といとも簡単に父から云われてしまった。成る程、何度受けても全くの凡才であった私は失敗の連続で、結局 3年浪人後やっと受験に成功、欲して仕方がなかったアメ玉を貰った子供みたい(随分フルーイ表現)に喜んだのは云うまでもない。あの学校は不思議なところで、一旦合格して入学すると、もう自分はいっぱしの芸術家になった様な気分但实际上には入る前と技術や感性は何にも変わった訳ではないのに、実にオカシなことだった。そんな中で学部 4年近くを遊んで過ごし、いざ卒業制作の時期(卒業前年夏休み頃)になってから大いに悩むことになってしまった。いくら練ってもしばっても作品の形態がまとまらないのである。いい案が浮かばず悩み苦しみの日々であったが、ある真夜中、中高の黒漆高台に直径 1尺 3寸強の根来大皿をのせた盛器をフツと思いついた。大皿のぐり立ち上がり細目の削ぎ面を四区に切って蒔絵と金切金で加飾した比較的さっぱりした意匠だったが、主任教授の松田権六先生が芸大買上を決めて下さったのである。これは唯々幸運としか云いようのないことであるが、私にとって最も嬉しかったのは大先輩であるところの二人師、松田権六、父、重太郎の卒業制作と同じ芸大の収蔵庫に半永久的に収納されていることであった。

また、そこには東京美術学校第一回卒業生であるところの横山大観などの大家の卒制

も同様に収納されている。

卒業式の前に頂戴した日本銀行発行の小切手は、そのまま父に礼を云って渡した。その時父は「おめでとう」と云ってくれたのを憶えている。私が何年もこりずに浪人していた時「もう芸大受験はいいかげんに止めたらどうだ!？」とは、一度も云わなかった父には感謝してもしきれるものではなかったのである。

その後、有難きことと常々感謝していたことは、師松田権六、小西重太郎ともに長命で松田先生は昨61年 6月90才で父重太郎は 6年前86才で他界、実に永い間に亘って数多くの教示を受けることが出来たことは、本当に幸運だったと思う。両師の先生は明治期の最も代表的漆芸家であった白山松哉（^{シヤマショウサイ}嘉永 6年1853～大正12年1923）で、今や“明治は遠くなりけり”とは云うものの私はこの嘉永 6年生まれの白山松哉の孫弟子に当たる訳で両師を想う時、江戸蒔絵がその磨かれた技術に彷彿とさせていたのを鮮やかに思い出すのである。

芸大卒業後は父が経営する小西美術工藝社に入社し、以降随分を多くの仕事を手がけて来た。その内、最も代表的なものは、

1. 国宝中尊寺金色堂昭和大修理 （昭和43年竣工）

1. 皇居内新築宮殿漆塗 （ “ ” ）

1. 迎賓館金箔 （同49年竣工）

1. 伊勢神宮第60回式年遷宮御神宝調整（同48年竣工）

等である。また、10数年前から、東京国立博物館内の国宝修理室（漆工）をまかされ数々の国宝や重要文化財保存のお役に立っている。

この国宝修理の面白いところは思わぬものが、つまり普段ガラス越しにしか見られないものが短い時で1週間、長くなると1年間或いはそれ以上我が修理室に滞在という^{イザ}入院する訳である。人間ではないが生命を永らえるために外科のお医者さんにかゝる如くに治療（修理）される。その間私は助手も含めて、仕事をしながら勉強出来る大変恵まれた立場に居る訳で同時に責任も重く直接平安や鎌倉時代の国宝に触れて、今までで知られていなかった新発見や新考察を怠ってはならず、常に感覚を研ぎすまして仕事に取り組まねばならないのである。

最近の面白い仕事の一つに、如意輪観音像をおまつりする新築の多宝塔初重内部を蒔絵漆塗螺鈿金箔極彩色等で飾る夢のような天空の世界を設計中で同時にその施工も行うことになっている。

[本日その螺鈿と金蒔絵手板を持参他の漆芸器と一緒に皆様に見て頂く]

最後になったが「ジャパン」とは、「チャイナ」に対する意味で、漆または漆器の普通名詞。チャイナと同様に17世紀前半中葉頃には西欧で使われていたらしい。

[他に持参した漆芸品は、1.根来薬壺（室町時代）

1.鼻煙壺（現在）
1.黒漆八角小箱（現在）]

次週の予定

昭和63年 2月 5日（第67回）

卓 話 「暗黒の月曜日以後」 山本 博一君
当クラブ会員 クレディ・ミス信託銀行常務取締役

※受付当番の方々は11時50分迄にご出席願います

来週の担当は

受付／宮本 ZALOOM 来客紹介／青野 山本 会計／入沢 安藤
ニコニコボックス／吉田 大日方 ソングリーダー／山下

会長／田島一郎 副会長／佐藤定宏 幹事／川鍋達朗 会報／斉藤茂之

東京新南ロータリークラブ

事務所：〒107 東京港区赤坂 2-22-19南部坂アネックス 201号

電話：03-505-5976（ファクシミリは同番で切り替え）